

ちゅうおう

▶ 第185号 2018年

第7回県南地域和牛能力共進会



経産牛金賞 かつみ号(花木義文)

長崎県県央振興局農林部 (中央家畜保健衛生所)

〒854-0063 長崎県諫早市貝津町3118

TEL 0957-25-1331 (代)

FAX 0957-25-1332

E-mail

衛生課 : s34500@pref.nagasaki.lg.jp

防疫課 : s34510@pref.nagasaki.lg.jp

検査課 : s34520@pref.nagasaki.lg.jp

HP : <http://www.pref.nagasaki.jp/section/ko-chuokatiku/index.html>



目 次

- P.2-3 豚コレラ及びアフリカ豚コレラ情報
- P.4 鳥インフルエンザの発生状況について
平成30年度上半期病性鑑定実施状況 (検査課)
- P.5 和牛能力共進会が開催されました
第12回「食べてみんね！」長崎和牛枝肉共進会が開催されました
- P.6 長崎県期待の種雄牛を紹介します
第59回 全国家畜保健衛生業績発表会にて農林水産大臣賞受賞

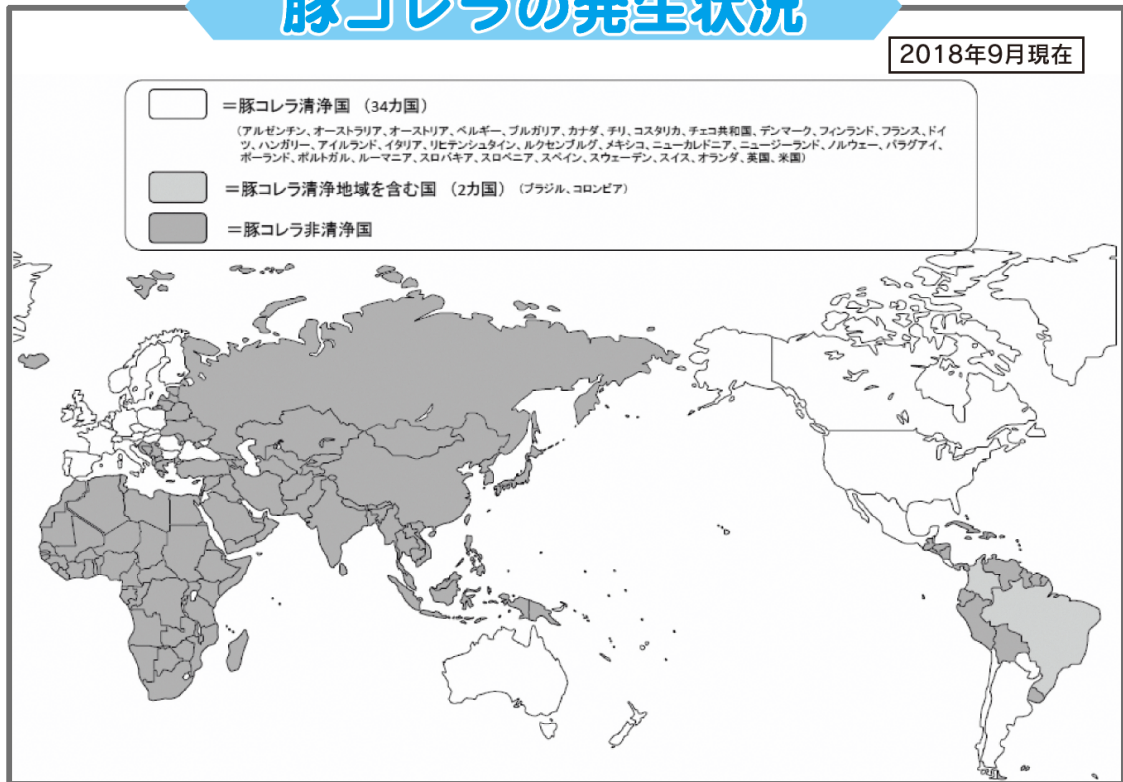
豚コレラ及びアフリカ豚コレラ情報

豚コレラ及びアフリカ豚コレラの発生リスクが高まっています。これらの疾病は、口蹄疫と同様に家畜衛生上極めて重要な越境性動物疾病です。症状は類似しており、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、発生した場合の畜産業界への影響は甚大なものになります。

豚コレラ

9月9日、岐阜県の養豚農場において、日本では平成4年以来26年ぶりとなる豚コレラの患畜が確認され、その後、発生農場周辺で死亡した野生イノシシから豚コレラウイルスが検出されています。また、中国や東南アジアの国々は、依然、豚コレラの発生国であり、本県はこれらの国と地理的に近く、人や物の交流が活発であることから、発生リスクは非常に高いと考えられます。

豚コレラの発生状況

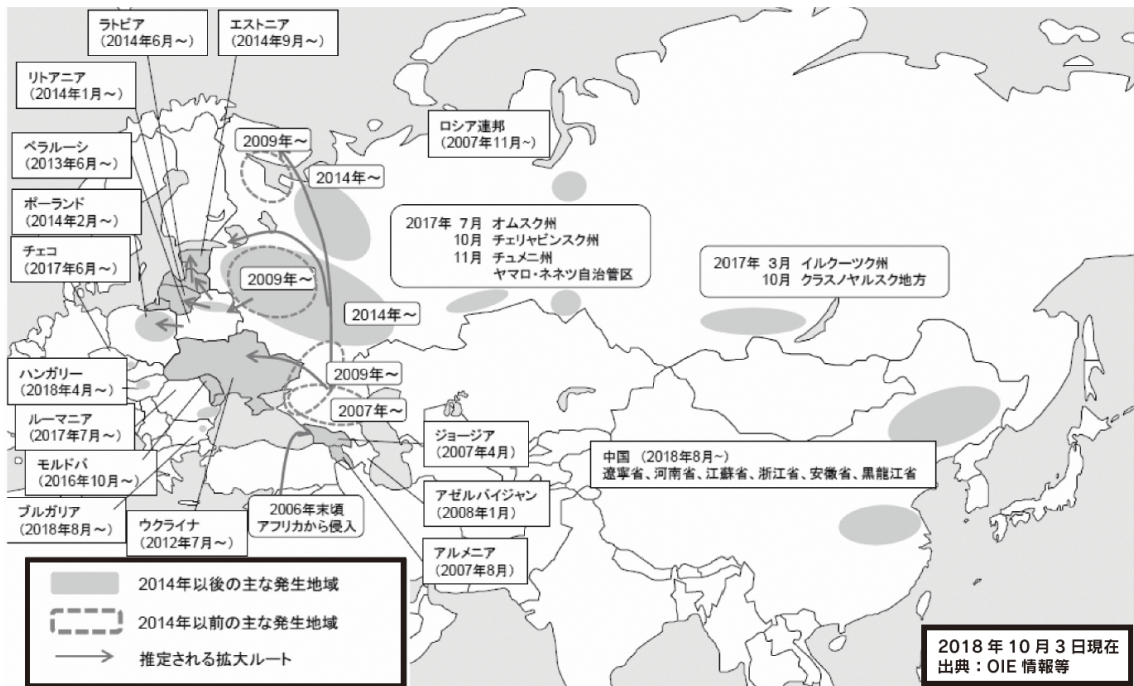


アフリカ豚コレラ

2018年8月3日に、中国遼寧省の養豚場で、**アジアで初めての発生が確認**されました。その後、河南省、黒龍江省、江蘇省、浙江省、安徽省、内モンゴル自治区、吉林省でも確認されており、**中国内でアフリカ豚コレラの感染が広がっています。**

中国での発生原因は不明ですが、これまでの発生事例では、不法持込の畜産物、食品残渣、野生イノシシなどが原因とされています。

●世界におけるアフリカ豚コレラの発生拡大状況（2007年～）



以下の事項にご留意のうえ、発生防止対策に万全を期していただきますようお願いいたします。

- 衛生管理区域を明確にし、関係のない者や野生動物を立入らせない措置を講じ、出入口での車両や人等の消毒の励行に努めてください。
- 飼養豚の毎日の健康観察による異常豚の早期発見・早期通報に努めてください。
- 生肉を含み、又は含む可能性がある飼料を給与する場合は、加熱処理（摂氏 70 度以上で 30 分間以上、又は摂氏 80 度以上で 3 分間以上）が適切に行われたものを用いてください。
- 不要不急の発生国への渡航は、自粛するように努めてください。

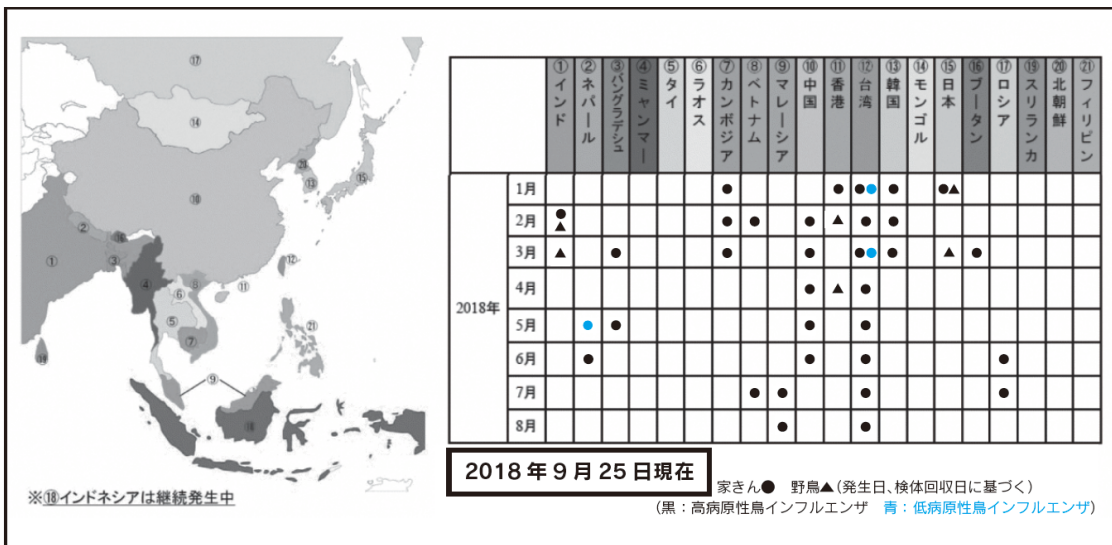
豚コレラ及びアフリカ豚コレラ発生後の対応について

- 発生農場**：飼養豚はすべて殺処分となります。新たに豚を導入し経営を再開する際は、導入 1 か月前以内及び導入後 2 週間経過後に県は立入検査を行い、さらに、少なくとも制限区域解除後、3 か月間は監視を継続することとなります。
- 制限区域内の農場**：移動制限区域（原則、発生農場を中心とした半径 3km の区域）及び搬出制限区域（発生農場を中心とした半径 10km の移動制限区域外の区域）が設定され、区域内の農場では飼養豚の移動等が制限されます。
- 制限区域の解除**：発生農場の防疫措置完了後、豚コレラは 17 日（アフリカ豚コレラは 11 日）経過後に実施する移動制限区域内の農場（6 頭以上飼養する農場）を対象とした清浄性確認検査により、すべての農場で陰性が確認されており、かつ防疫措置完了後、豚コレラは 28 日（アフリカ豚コレラは 22 日）が経過した時点となります。

鳥インフルエンザの発生状況について

【高病原性鳥インフルエンザ発生状況】

4月以降、近隣諸国での発生は落ち着いてきていますが、台湾では現在も発生が続いています。



口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザといった越境性動物疾病の発生は近隣諸国で続いており、依然として日本国内への侵入リスクは高い状態にあります。冬も近づき、鳥インフルエンザウイルスを運ぶ渡り鳥が大陸から渡ってくる季節になり、より一層の注意が必要となります。飼養者の皆様は、病原体を飼養施設内に侵入させないように、引き続き飼養衛生管理基準遵守の徹底と、異常畜の早期発見・通報に万全を期していただきますようお願いいたします。

平成30年度上半期病性鑑定実施状況 (検査課)

平成30年度4～9月の検査依頼は、牛76件、豚41件、鶏35件、馬1件、その他2件の合計155件でした。主な疾病は表のとおりでした。

牛	牛口タウイルス病 (3)、牛 RS ウイルス病 (2)、地方病性牛白血病 (2)、細菌性流産 (2)、牛 RS ウイルス病及び牛ライノウイルス病の合併症 (1)、牛 RS ウイルス病及び牛マイコプラズマ肺炎の合併症 (1)、化膿性壊死性気管支肺炎 (1)、牛大腸菌症 (1)、牛コクシジウム病 (1)、大脳皮質壊死症 (1)、尿細管間質性腎炎 (1)、慢性腎炎 (1)
豚	豚大腸菌症 (2)、浮腫病 (1)、ヘモフィルス・パラスイス感染症 (1)、豚クロストリジウム・パーフリングENS感染症 (1)、豚マイコプラズマ病 (1)
鶏	伝染性気管支炎および鶏大腸菌症の合併症 (1)、鶏痘 (皮膚型) (1)、尿酸塩沈着症 (1)

和牛能力共進会が開催されました

県南家畜市場において、9月5日にJA ながさき県央管内、10月4日にJA ながさき県央・JA 島原雲仙両管内の共進会が開催されました。

平成34年に開催される鹿児島全共に向けて、技術の研鑽に取り組まれています。

第13回JAながさき県央主催繁殖牛改良能力共進会(H30.9.5)

	若雌の1	若雌の2	繁殖経産牛
金賞	あやめ号(嘉村秀樹) (グランドチャンピオン)	はなこ号(横尾常弘)	まさこ号(前田信久)
銀賞	はるこ号(中村真剛)	なおみ号(吉崎昌)	てるひかり号(嘉村恵治)
銅賞	はるひ号(吉崎忠敏)	すずはれ号(牛田鐵治)	ちあき号(島田正)



若雌の1 (GC) あやめ号(嘉村秀樹)



若雌の2 はなこ号(横尾常弘)



産牛 まさこ号(前田信久)

第7回県南地域和牛能力共進会(H30.10.4)

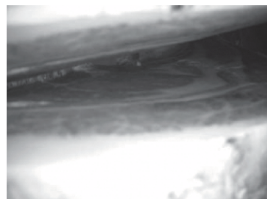
	若雌の1	若雌の2	経産牛
金賞	ふくたろう号(大島司) (グランドチャンピオン)	ゆかり号(荒木正太)	かつみ号(花木義文)
銀賞	あやめ号(嘉村秀樹)	はなみずき号(山本照明)	ともえ号(渡部洋史)
銅賞1	はるひ号(吉崎忠敏)	さつき号(園田裕司)	まさこ号(前田信久)
銅賞2	ゆうり号(荒木正司)	かねみつはる号(大島裕)	みやび号(大久保和仁)
銅賞3	ほのか号(吉原満夫)	わたる号(荒木大作)	てるひかり号(嘉村恵治)

※青字はJA ながさき県央、黒字はJA 島原雲仙管内。また、当所管内の金賞受賞牛の かつみ号は表紙に掲載

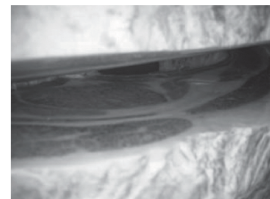
第12回「食べてみんね！」長崎和牛枝肉共進会が開催されました

去る9月20日、佐世保食肉センターにおいて、第12回「食べてみんね！」長崎和牛枝肉共進会が開催され、県内各地域から50頭の枝肉が出品されました。

出品された枝肉の平均BMSNo.は7.7、上物率86%と特に肉質で品質の良い枝肉が揃っていました。そのなかで、当所管内からは中村勝利さんと株式会社 中村畜産(共に西海市)の出品枝肉が銅賞を獲得しました。



中村勝利さん出品枝肉



(株)中村畜産出品枝肉

長崎県期待の種雄牛を紹介します

隼勝忠

(生年月日 平成24年10月4日)



全国的に高い知名度を誇る「勝忠平」を父に、脂肪交雑育種価の優れた「きくひめ」を母に持つ気高系種雄牛です。現場後代検定では、平均 BMSNo.8.8(去勢 9.0)と本県歴代第2位となる好成績を収め、今後、「長崎和牛」の品質向上に大きく貢献することが期待されます。

〈血統〉勝忠平－平茂勝－第5隼福

現場後代検定成績

区分	枝肉重量	コース芯面積	バラの厚さ	脂肪交雑 (BMSNo.)	上物率
隼勝忠(去勢)	506.4kg	69.8cm ²	8.2cm	9.0	100%
県平均(去勢)	486.4kg	58.0cm ²	7.9cm	6.8	81.7%

交配方法

本牛は気高系の血量が濃い種雄牛ですので、発育と肉質を兼備した子牛を生産するためには次のような母牛への交配が考えられます。※遺伝病：すべて正常

1. 糸桜系の母牛(例 平茂晴等)
2. 但馬系の母(例 牛若丸、幸政、安福久、福栄等)

去る9月26日、27日に東京都で第59回全国畜産保健衛生業績発表会が開催され、全国から選抜された48演題が発表されました。

本県からは当所の井上係長が「18年ぶりに発生した流行性出血病ウイルス7型による牛異常産の病態、疫学および被害状況の分析」について発表を行い、最優秀演題として農林水産大臣賞を受賞しました。

